

Walkable City Minakama

2023年美濃加茂市10大ニュース



堂上蜂屋柿の初競り。市場価格は10万円（1月）

美濃加茂市の特産である堂上蜂屋柿が名古屋市中央卸売市場本場（名古屋市熱田区）に出荷され、最高で3個10万円の高値で競り落とされました。

競りにかけられたのは、前日に開かれた品評会で入賞した10品で、最優秀の金賞（県知事賞）に選ばれた春見弘文^{かすみひろふみ}さんの干し柿には10万円の値がつくなど、いずれも1万円以上で取引されました。



歩いて健康増進。 クアオルト健康ウォーキングのコースとガイドを認定（2月）

健康寿命日本一を目指し、みのかも健康10か条を掲げる美濃加茂市は、体の健康、心の健康、社会の健康づくりに取り組んでいます。

テクノロジーを活用した健康増進の取組の一環として、講演と医療用や介護用などの医療ロボットを展示するヘルステックシンポジウムを行いました。

また、クアオルト健康ウォーキングについてコース及びガイドの認定を行い、多くの参加者への健康づくりに役立っています。





「きずなメール」と「木育」で子育てを支援（4月）

出産子育て応援・第2子以降支援・オムツ宅配事業などの子育て支援事業と合わせて、妊娠週数や子どもの月齢に合わせた、妊婦・家族向けメッセージや子育てアドバイスに加え、市の子育てに関する情報をタイムリーに配信するプッシュ型の子育て情報配信「みのかも子育てきずなメール」の運用も開始しました。

また、生まれてきた子供たちの健やかな成長を願うとともに、木にふれあう機会を創出するため、新生児を対象に県産材を活用した誕生祝い品（木の器）を贈る木育スタート事業を行っています。



新庁舎整備ロードマップに沿って 市民向けワークショップを開催（7月）

令和5年3月に策定した新庁舎整備ロードマップに沿ってワークショップやアンケート調査を行いました。

7月下旬に実施した市民ワークショップでは、12月までに計9日間開催し、延べ212人に参加していただき、活発な意見交換を行いました。

また、5人以上の団体対象に実施しているおでかけワークショップは12月までに計18回、延べ785人に参加していただき貴重なご意見等をいただきました。

皆さんからの貴重なご意見を、今後の新庁舎整備の推進に活かしていきます。



おん祭 MINOKAMO や市民まつりなど 多くのイベントを制限なしで開催（8月）

今年は新型コロナウイルス感染症による制限なしでのイベントを開催することができ、市内外の多くの人を楽しんでもらえることができました。

8月のおん祭 MINOKAMO 2023 夏の陣（市民花火大会）が3万5千人、10月の秋の陣（中山道まつり）が1万2千人、11月の第12回みのかも市民まつりが4万人の来場者で賑わいました。





適切な業務遂行と行政サービスの提供を 「美濃加茂市政策執行の指針」を策定（10月）

全ての職員が、政策の実現（事業の実施）につながる適正な政策の執行（行政実務の執行）について、一定の業務水準を確保し、継続的な業務の改善を推進することを目的として作成しました。

本指針に基づき、職員は適切な行政サービスが提供できるようそれぞれの知見や経験を活かし、改善を繰り返しながらお互いを補うチームとして業務を遂行します。



災害協定事業所と連携した 災害時応急医療(救護所開設)活動訓練を実施（10月）

大規模災害発生時には医療体制がひっ迫するため、災害拠点病院や医師会等関係機関と協定を締結するとともに、それぞれの役割を確認し、円滑な初動対応を行うため、傷病者の受け入れ体制、トリアージ、応急処置などの救護所開設訓練を実施しました。

訓練は、災害拠点病院である社会医療法人中部国際医療センター及びみのかも健康プラザで行い、行政と各種医療機関、警察、消防、看護学校など約120名が参加し、それぞれの役割の把握と連携方法を確認しました。



「スマホ市役所」オープン LINEを活用し双方向のコミュニケーションを目指す（10月）

国の制度を活用し、富士通Japan(株)から職員を迎え、市民サービス向上と事務の効率化を推進しています。

その一例として、にじいろの広場、ほたるの広場、サンサンルームの施設入退室管理をLINEで行えるようになるなど、市民の利便性向上を図りました。

また、市LINE公式アカウントをリニューアルし、「スマホ市役所」として市政情報の発信だけでなく市役所への提案もできるようになりました。

本制度を用いて、同社から招聘した職員を中心に今後も市民サービスの向上などを進めていきます。





最先端の発電所である 美濃加茂バイオマス発電所の稼働開始（11月）

美濃加茂市を含む県産材の未利用材を主燃料とする「美濃加茂バイオマス発電所」が前平町の市有地で稼働開始しました。

今後、持続可能な資源を利用してエネルギーを生み出す最先端の発電所としての役割が期待されています。



消防庁主催の消防団 PR ムービーコンテスト 美濃加茂市消防団が優秀賞を受賞（12月）

消防庁の消防団員入団促進広報事業の一環である「第7回消防団 PR ムービーコンテスト」において、美濃加茂市消防団員が独自で作成した「自分たちのまちは自分たちで守る」が優秀賞（第2位）を受賞しました。

12月5日には、TOKYO FM ホール（東京都）で表彰式が開催され、消防庁長官から同消防団が賞状を直接受け取りました。

